

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和5年6月30日(金) 午前9時00分 ~ 午前11時40分
開催方法	大会議室A
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 興松 敬史 委員 石田 真由美 委員 宮崎 仁美 委員 芳賀 良 委員 長谷川 孝雄
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	山本課長 石嶋主幹 北田副主幹 野本主任
議 題	(1) 令和5年度評価対象施策の概要について (2) 今後の事務スケジュールについて
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第及びタイムテーブル 【資料1】施策評価シートの構成について 【資料2】施策評価シート・事務事業評価シート 【資料3】外部評価ヒアリングまでのスケジュールについて 【資料4】ヒアリング実施スケジュール 【参考資料】附属機関一覧 【事前質問記入用紙】令和5年度外部評価ヒアリング

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>8月の外部評価ヒアリングの実施に当たり、その評価対象となる6つ施策の概略について、委員の皆様との間で情報共有を図るという趣旨で開催されるものである。長丁場になるが、協力をお願いしたい。</p>
委員長	<p>3 議 事</p> <p>(1) 令和5年度評価対象施策の概要について</p> <p>本日はタイムスケジュールが厳しくなっており、議題(1)に係る委員からの質問は、各施策に係る事実関係を確認する質問に留めていただき、事業の妥当性など、施策評価の内容に係る質問については、8月に行われるヒアリングの際に行っていただきたい。また、この場ですぐに回答できない質問については、次回のヒアリングで回答するという取扱いにさせていただく。円滑な進行のため、委員各位の協力をお願いしたい。</p>
事務局	<p>< 施策4「世界で活躍できる人間の育成」 ></p> <p>資料2に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員	<p>口頭で補足説明をしていただいたが、資料に書かれてない情報については、提供がされないと理解が難しいので、重要な情報については、補足資料を添えていただきたい。</p> <p>補足資料を参考に、キーワードから自分で調べるので、情報提供をお願いしたい。</p>
事務局	<p>補足資料を準備する。</p>
委員	<p>取り組みの方針欄には、世界で活躍するための能力育成の推進について記載しており、1項目と2項目には、教育の方向性などについて書かれている。</p>

事務局	<p>3項目は、コミュニケーションとは別に、個々の問題に対する相談体制について書かれている。</p> <p>行政としては、これらの取組を教育の現場にどのように落とし込んでいるのか。ICT化などは、言葉のとおりで分かる。教育の現場と行政側の支援については、どのように読み取れば良いのか。</p> <p>世界で活躍できる人間の育成に向けた取組を行うに当たり、世界で活躍するための能力育成の推進、地域の連携強化、教育環境の充実をするための大きなものとして、教育委員会がある。事務事業評価シートでは、教育委員会事務費が該当し、教育委員会を開催していくための庶務事務的なものを担っているが、本事業の事務事業評価シートを見ても審議内容は記載されないの、審議結果やどのように教育現場に反映しているのかという点については、ヒアリングの際に、教育委員会事務局に質問していただきたい。</p>
委員	<p>承知した。担当課は、教育政策室で良いか。</p>
事務局	<p>教育委員会事務費の担当課は、教育総務課になる。</p>
委員	<p>取り組みの方針については、よくマスコミに出てくるような言葉が多いが、それを行政として、どのようにどう落とし込んでいるのか。</p> <p>我々としては、総合振興計画を評価する中では、重要なことであると感じている。</p> <p>教育現場の取組については、我々が評価できる立場ではないが、それを行政としてどのように支援しているのかという点について、興味がある。</p> <p>そのような部分が、分かるようにヒアリングしたいと考えている。</p>
事務局	<p>教育委員会は、いち早くEBPMの考え方を取り込み、今までの経験や勘でだけで、教育するのではなく、データ等の根拠に基づいた指導方法を徹底している。</p> <p>世の中の変化が非常に激しい中、今後、どのように育成していくかという点については、教育政策室が中心となる、新たな手法を含む様々な手法を取り入れながら、トライアンドエラーを繰り返しながらやっているの、その</p>

	<p>ような取組内容については、ヒアリングの際に、質問していただいた上で評価をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>事務事業が多いが、体系や事務事業同士の関連はどのようになっているのか。ロジック・モデルシートが次回に出てくるということなので、今回は踏み込んで聞かないが、そのような点についても分かるように説明していただきたい。一つずつ説明していただいても、全体が見えてこないような気がする。</p>
<p>事務局</p>	<p>ただいま、ロジック・モデルシートを検証している最中だが、非常に大きなロジックの展開図になる。</p> <p>学校施設の面から教育を支える部分もあれば、指導方針に基づいて支える部分もある。また、学校にも通えない子供達に対する支援であったり、通ってはいるが、相談が必要な子供に対する支援など、各種方面から総合的にまとめているところである。</p> <p>ロジック・モデルシートもなるべく分かりやすいように、まとめた上で提示させていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>施策評価シートについては、大事業や中事業など、どこに位置づけられているかということが分かるように示していただきたい。</p> <p>大事業の中に中事業がいくつあるという形が望ましい。一つ一つを細かく見ていって、全体がぼやけてしまっは、良くないと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>一委員としては、第5次総合振興計画の冊子に書かれている施策4の内容を見ながら確認することを前提とした上で、施策評価シートにある実績等を見ていくものと理解をしている。</p> <p>その施策4のページを見ると、開発抑制をして、学校規模を適正にコントロールするという部分に大きく下線が引かれている。</p> <p>人口のコントロールをする施策である一方で、施策評価シートでは、人口のコントロールに関することが、何も書かれていない。</p> <p>これは、施策のロジック上で、問題があるのかないのかを確認しなければいけないというのが質問の1点目である。</p>

<p>事務局</p>	<p>2点目として、同じく施策4の中には、いろいろな部分に下線が引いてあり、そこが頑張る部分あるいは、そこが課題であるということを気にしながら、施策評価シートを見ると、学校運営協議会については、非常に大きく下線が引いてあるが、それとどこが対応しているのかが、よく分からなかった。</p> <p>つまり、計画上では、頑張るとしているが、施策評価シートのどこにその記載があるのか。このことをどのように整理するのか、補足資料が必要かということが2点目である。</p> <p>3点目は、この施策を評価する中での大きな柱として、資源の投入の方向性に関する問題がある。</p> <p>施策4では、学校給食費の公会計化などの問題を所管する大事な領域があり、健やかな環境にどのように貢献するかという設定になっている。学校給食を巡っては、国と県の動向で市以外の公費が入る方向性について既に大きく見えている状況であるが、そのような場合、過去の実績を踏まえた評価や方向性の議論ができなくなってしまうのではないかと。</p> <p>この扱いは、どの施策でも発生しうる問題である。統一的な見解は言えないものという前提で、明らかに予算措置まで進んでしまっている事柄があるので、どう扱うのかというのが3点目である。</p> <p>1点目の学区の問題については、住民抑制をしてとなっているが、第5次総合振興計画の策定時の協働会議において市民も参画しながら策定した際に大事であるという意見が出た内容に下線を引いている。</p> <p>もちろん、教育委員会事務局では大規模なマンションなどの計画が立ち上がった際には、その学区の学校規模の維持ができないことが懸案されていた時期であったため、総合振興計画を策定する際には、そのような課題もしっかりと踏まえて各学校の整備状況を検討していくとしていたところである。</p> <p>実際には、小学校及び中学校の施設整備事業の中で、大規模改修等を行っており、住民抑制に関する指導要綱などによって維持していく点については明記がされていないが、教育委員会事務局としては、都市計画部門と協議を重ね、開発状況等の情報を共有しながら、必要に応じて、大規模改修を行い、教室の確保などを努めている。</p> <p>近年の状況を把握しているわけでないが、検討しながら進めているので、ヒアリングの際に回答できるようにしていきたい。</p>
------------	---

委員	<p>都市計画の決定権限は、教育委員会事務局ではないという前提で、施策評価シートの関係課の中に都市計画部門が入っていない。そうすると、取り組むという設計がされているものとどのように対応しているかについて、穴があるように見えてしまうことから、質問したものである。</p>
事務局	<p>事案が発生するたびに協議が行われるため、5年、10年の間にそのような大規模な開発が行われる事案が発生した場合は、都市計画部門との協議が行われるため、その年度については、非常に濃い関係課になっていくが、総合振興計画の中では、毎年度、必ず関係するものではないので、関係課としての位置づけをしていない。</p> <p>2点目の学校運営協議会については、コミュニティ・スクール事業の中で、学校運営協議会の連携を図りながら、円滑に運営するというものである。ヒアリングの際は、コミュニティ・スクール事業として、学校運営協議会との取組について説明させていただく。</p> <p>3点目の資源の導入については、学校給食に関わらず、国・県の動向次第で、予算や事業の位置づけが変わることは多くあるが、我々の評価は、昨年度実施した事業を踏まえて、翌年度以降の方向性を出している。そのため、現時点で国・県の動向が未定な場合は、市として予算化を想定しながら進めていくという判断をせざるを得ない状況になってしまう。</p> <p>その点について、市として予算化がなされているものは、市で内部評価を行った上で、今後の方向性を示していることを踏まえながら判断していただきたい。</p>
委員長	<p>ヒアリングの際に、改めて質問することができ、7月13日締め切りの事前質問用紙に書いていただくこともできるので、活用していただきたい。</p> <p>ロジック・モデルシートについては、本日の資料にはないが、提示されるのはいつか。それがあれば、質問しなくても良い場合もある。</p>
事務局	<p>ロジック・モデルシートについては、7月28日頃、送付させていただく予定で進めている。</p>

委員長	特に意見がなければ、次の施策の説明に移って良いか。
委員一同	異議なし
事務局	<p>< 施策 9 「健康づくり支援の充実」 > 資料 2 に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員	<p>総合振興計画の策定は、新型コロナウイルス感染症の拡大前の話であるが、新型コロナウイルスワクチン接種事業が施策 9 に入っている。</p> <p>施策 8 にも関係する事業であると考えますが、その前に施策 8 と施策 9 の線引きがよく分からない。いわゆる地域医療の範囲はどこまでか、健康づくり支援の範囲は、どこまでか。もちろん、線引きする必要があるわけではなく、連携していけば良いが、線引きについて、理解しきれていない状況である。ただ、責任を持って取り組む部署がないと困ることも多いと考える。</p> <p>施策 8 と施策 9 の違いをはっきりさせたい。新型コロナウイルスワクチン接種事業が施策 9 に決まった経緯などは教えてもらえるか。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業は、感染症対策の関係であり、施策 9 に感染症対策事業があることから、施策を構成する事務事業として位置づけられていた。</p> <p>そこに新型コロナウイルス感染症が発生したため、当然ながら従前担当している施策 9 の感染症対策の一環として、位置づけられたものである。</p> <p>第 5 次総合振興計画の冊子の 6 8 ページの施策の目的のとおり元気で長生きで健康に生きていくためには、感染症に対する対策をしっかりと行い、感染しない、した場合も重症化しないために予防接種を行うことで、現況と課題欄のとおり感染症から市民を守るという認識で、この施策において展開しているものである。</p>
委員	<p>感染症と聞くと、地域などのイメージが沸くため、新型コロナウイルス感染症対策関係の事務事業が施策 8 でないのかと疑問に思ったところである。</p>

委員	<p>さきほどの話と重複するが、第3次健康増進計画が出てきたので、その情報提供をお願いしたい。また、第2次食育推進計画は、検索すれば情報がでてくるものか。自分で調べるために教えてほしい。</p> <p>2点目は、共通事項として確認したいが、施策評価シートの説明の際に話があったが、施策内優先度の任意事業は、A B Cのいずれかが付き、施策内優先度の「義」は、義務ということで良いか。</p> <p>それから、施策内優先度の「予」は、予算管理シートと書いてあるが、予算管理シートの意味が分からない。</p>
事務局	<p>予算管理シートについて、具体例を挙げると、事務事業評価シートの右上に9ページの健康増進事業がある。これまで事務事業評価を実施する中では、今後の方向性についても次年度に評価している。</p> <p>予算編成用シート（評価除外事業）については、制度当初から実施している仕組みであり、他の事業を下支えするような庶務事務的な予算だけを扱う事業については、評価の判断を下すのが非常に難しいが、そのような経常的な経費についても必要であるため、予算編成用シートという位置づけにし、評価をしないことにしている。</p> <p>そのため、事務事業評価シートを見ると、予算までは記載しているが、裏面の目標の達成状況の指標は設定をしておらず、評価していないことになっている。</p>
委員長	<p>特に意見がなければ、次の施策の説明に移って良いか。</p>
委員一同	<p>異議なし</p>
事務局	<p>< 施策16「地域防災力・危機管理体制の充実・強化」 > 資料2に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員	<p>近所付き合いが非常に疎遠になってきている。町会に入らない人もかなり増えてきている中で、いわゆる共助の取組を具体的には、どのように取り組もうとしているのか。</p>

	<p>自主防災会は、地域ごとの自主的な取組だと思うが、具体的には自主防災会はいくつあるのか、地域的な偏りがあるのかなど。</p> <p>また、今後、どのようにしていくかについては、どこから読み取ればよいのか。</p>
事務局	<p>数値は、持ち合わせていないため、ヒアリングの際に、回答させていただきたい。</p> <p>地域の偏りや自主防災会を今後どのように考えているかについては、おっしゃるとおり町会の加入率が低下している中で、自主防災会に頼っての共助が難しい部分が出てきていると感じている。</p> <p>そのような点についても、ヒアリングの際に、回答させていただきたい。</p>
委員	<p>委員の皆様と認識を共有するための質問である。</p> <p>施策16は、地域防災力・危機管理体制の充実・強化がタイトルになっているが、危機管理体制の定義については、各立場によって異なる可能性が非常にあるので、評価軸が異なると認識も変わってしまうこともある。</p> <p>施策16の危機管理体制とは何かについて、共有できればという意図の質問である。</p> <p>例えば、市長のトップダウンで決めていく市の防災会議などのマネジメントを指すのか、それとも関係機関である警察なども含めて管理するということなのか、今日この場では答えはでないかもしれないが、共有できればという質問である。</p>
事務局	<p>ヒアリングの初めに、危機管理防災課から危機管理体制について、説明できるようにしたい。</p>
委員長	<p>委員から事務局に対して、様々な質問をいただいているが、質問した委員が、改めて事前質問用紙に書かなくても構わないという理解で良いか。事務局に質問が出ているので、事務局経由で担当部局に対して伝えることで、当日、または事前に回答していただけるという認識でよいか。</p>
事務局	<p>事務局が本日持ち帰り、各部局に確認した上で、回答させていただく方式</p>

	<p>としたい。聞き足りなかったところについては、事前質問用紙に記入の上、提出していただきたい。</p>
委員長	<p>できる限り、ヒアリング当日の時間を有意義に使いたいのので、事前に書面で担当部局から回答があるとありがたい。</p>
委員	<p>できれば、今日の議事録を暫定版で良いので、なるべく早くいただけると非常にありがたい。</p>
事務局	<p>承知した。速報版を早めに送付したい。</p>
委員	<p>第2回外部評価委員会で言うべきだったかもしれないが、市長の選定分の施策9、施策16、施策26を選定した想いや理由は何か。</p>
事務局	<p>市長から理由をお聞きしたところ、施策9に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を持っている施策であり、5類に移行したことに伴い、これまでの振り返りをしっかりと市民委員の方も含めて行っていただければという想いで選定したものである。</p> <p>続いて、施策16の地域防災力に関しては、台風19号を踏まえ、本市としては、避難所運営や避難体制について、強化していくべきと市長も力を入れていることから選定したものである。</p> <p>最後に、施策26の公園に関しては、この後、説明があるが、本市の公園は他市に比べて、1人当たりの公園面積が非常に大きく、市民に身近に感じていただける距離感がありながら、その公園にいかに愛着を持ってもらえるかというところが大きなテーマで市長は捉えている。昨年度から力を入れている取組もあるため、選定したものである。</p>
委員長	<p>特に意見がなければ、次の施策の説明に移って良いか。</p>
委員一同	<p>異議なし</p>

事務局	<p><施策22「安心して生活できる住環境の充実」> 資料2に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員	<p>総合振興計画は、5年、10年ごとに見直していくものと思うが、年度単位で方向性が変わることはあり得るのか。例えば、この年度については、これを中心にやろう、この年度については、これをやろうというもの。</p> <p>ロジック・モデルシートに何年度計画と記載があれば、分かるのかもしれないが、継続的に実施しなければいけないという位置づけの施策であるのか。それとも10年間の目標「『このまちで良かった』みんな輝く未来共創のまちとだ」に向けた施策としているということなのかという点が、あんまりよく見えない。</p> <p>要するに、この施策全体が、第5次総合振興計画の中で、どのような位置づけで進めているのか、進めていこうとしているのか。</p> <p>また、それを実施部門としては、どのように、取り組んでいくのか。総合振興計画の99ページにあることをそのまま実施するというわけではないと考えるので、そのような点が良く分かるように説明していただけるとありがたい。</p>
事務局	<p>3つの事務事業について、それぞれ課題等もある中で進めているが、空き家対策に関して、市としては、空き家はあまり発生しないという評価である。</p> <p>ただし、発生すると大きな問題になってしまうので、空き家対策は長期間の取組が必要であり、対応しなければならない。また、マンションについては、昨年度、マンション管理適正化推進計画を策定したというのが一つ大きなことである。</p> <p>今後、計画に則って、どのように進めていくかに関しては、担当課から回答させていただきたい。</p>
委員	<p>単なる空き家の対策をどうしていくかだけでなく、安心して生活できる住環境をどうするか。他の施策にも関わってくることも多くあるのではないかと。そのような点も併せて、回答いただけるとありがたい。</p> <p>結局、建物が古くなり、空き家が出てきてから対策する不動産課ではないはずである。安心して生活できる住環境というのは、本当はどういうものな</p>

	<p>のかということ。</p> <p>もう一つは、ヒアリングの話だが、実数が分かれば、非常に説明の説得力が増す。空き家の件数がいくつで、どのような状況になっているのかというように。</p>
事務局	<p>その推移については、確認させていただく。</p>
委員	<p>政策の中でカバーするかしないか問題の質問である。</p> <p>総合振興計画の冊子99ページの取り組みの方針の最後のところでは住宅困窮者の方への支援について記載している。</p> <p>ただ、小項目には、市営住宅というタイトルがついており、あくまでも市営住宅に限定した取組であって、民間の住宅を利用するような家賃補助や生活保護を受給していれば住宅扶助の領域で借りやすくする、あるいは市営住宅の貸出しを協議することを抑制するというような福祉政策については、扱わないという設計もあり得るわけである。</p> <p>しかしながら、住宅困窮者をカバーする方策ということだけを取り上げると、いろいろな方法があるので、施策22の範囲は、どこまでかという整理をお願いしたい。</p>
事務局	<p>施策22については、住宅政策の中でも市営住宅というカテゴリで管理しており、市営住宅の観点から福祉との連携を図るということである。</p> <p>福祉政策として必要な住宅の供給に関して、施策22では評価しないこととしている。</p>
委員	<p>そうなると、ロジック・モデルシートを書いていただくに当たって、住宅を使って人々のウェルネスを上げるためには、あるオプションのここをカバーしますということが、ロジック・モデルシート上にないと議論が混乱することが目に見える。</p> <p>ここからは、統一的な議論になるが、この施策は、この部分をカバーしていると定義されるのであれば、カバーしない部分が本当はあるではないか、という質問が出てくる。その場合にどのような議論をするかについては、いかがか。</p>

<p>委員長</p>	<p>昨年度の外部評価委員会でも類似のケースがあり、私の記憶が定かではないかもしれないが、下水道施策の関係課において、例えば公園緑地担当も入るのではないのかというコメントを差し上げた。</p> <p>今回もあとで質問しようと思っていたが、施策評価シートの担当課欄は、どのように決まっているのかということを確認したかった。</p> <p>施策の名称は、非常に幅広で、大きなものを掲げている、看板として。</p> <p>しかし、紐づいている事業になるとかなり限定的になっていて、そのギャップが大きい。</p> <p>では、どちらに揃えていくか。施策に揃えると、委員の質問にもあったように、おそらく市営住宅の話に限定して良いのかという話になり、もっと幅広い議論になることから、建築住宅課以外の他の担当事業とかも入るのではないのかという議論になる。ロジック・モデルシートをそういう観点で見た場合、ここが少し不足している、となるかもしれないし、あるいは、この部分だけで良いという議論になるかもしれない。</p> <p>例えば、総合振興計画の98ページでは、空き家に関しては防災、防犯、景観について触れられている。そうすると建築住宅課だけが良いのか、景観担当課、あるいは危機管理防災課も必要ではないか、という横の連携があって然るべきではないのかという議論になってくる。</p> <p>その交通整理は、昨年度にヒアリングを実施してみて、まだ確定していない部分があると感じたところである。</p> <p>話を元に戻すと、施策評価シートの担当課欄はどのように決定しているのか。単純に施策を担当していく部局が自己申告で書いて、共創企画課がそれをチェックする、あるいは、もっと全体的に取り組むなら、この課が必要であるというように、そういった調整を行っても良いと思うが、どう考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>第5次総合振興計画を策定する際には、戸田市をどのような方向性にしていくのか、基本目標を定めて、そこに対して何が出来るのかということで、事務事業を検討し、担当する所属を特定している。</p> <p>現状、計画を進行してきたこの2年間の中では、スタート時に建築住宅課が安心して生活できる住環境の充実を図る事業を展開していくということ</p>

<p>委員長</p>	<p>で、建付けをしたが、新たな課題が発生すると、それに対応する新たな事業の作り込みを行う場合がある。その際には、担当部署が変わるということもあるので、追加することはある。</p> <p>現状は、総合振興計画を策定した際に、建築住宅課の事業だけしか構成されてなかったのが、このような状況にあるが、福祉の観点で住宅政策を基本目標の中に盛り込んでいなかったがために、建築住宅課が行う市営住宅の中で、住宅困窮者に対して市営住宅を提供すると位置づけて、実施している。</p> <p>実際の外部評価ヒアリングに出席されるのは、建築住宅課の職員で、その方々は所管する事業の話がされるが、施策として見た場合は、そこだけでは足りないという議論になりそうである。</p> <p>ただ、事業がないのかということ他の部署で事業を実施しているのかもしれない。再掲の事務事業となるのかも分からない。それとも認識がないから担当課のここに名前が載っていないだけかもしれない。</p> <p>すぐには答えが出ないと思うが、大事なところであると考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>例えば、施策13「生活困窮者支援の充実」の中では、生活困窮者への住宅支援も入っており、それは生活保護制度の下で行われている事業になるかと思うが、大きな意味でいえば、施策22「安心して生活できる住環境の充実」の再掲の事務事業として取り扱う方が望ましいという意見になるようであれば、再掲の事務事業として、位置づけていく必要があると考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>本来は、施策をどこの部署がそれぞれの役割を分担し、連携していくのか議論が先にあり、結果として施策評価シートの中では、再掲の事務事業とする、または再掲の事務事業ではなく、事務事業として記載するという議論になっていくものである。</p>
<p>委員</p>	<p>住宅施策の対象については、確かに生活保護を受給されている方が思い浮かぶかもしれないが、それだけで良いのか。</p> <p>例えば、障害をお持ちの方が親亡き後を考えてグループホームなどで生きていくことを選ぶなど、もう一つの住のあり方になっていくということもある。</p>

	<p>それから、年金などを高齢者が受給されている場合、生活保護を受ける状況ではないが、民間住宅を借りることはなかなか難しい、いわゆる狭間といわれている層の方々がいて、一定のボリュームでニーズがある。ニーズ重視で見ると、ニーズごとのカテゴリーに対して、この対策でカバーするといえは、施策から考えていることになるが、住宅を供給するサイドからすると、住宅やオフィスを使ってどのような事業を行うかという観点になり、その中で、できることに限った話になる。</p>
委員	<p>施策全体をまとめ、方向性を示す部署として施策22では、建築住宅課としか書かれていないが、安心して生活できる住環境の充実という観点からすると、それだけで良いのかという問題がある。</p> <p>例えば、ある部署が統括して全部を決め、建物以外がメインになる事業はその部署でやってくださいなど、イニシアティブをとって進めている部署は、どこなのか。その部署があることで、この施策の方向性が決まると考えるが、それが分からないので、このような疑問点が出てくるのではないかと。</p> <p>そのような観点から、さきほど、私は不動産課になってしまうと言ったわけである。</p> <p>もちろん、数年間は何をやる、その後、数年間は、このように進めていくという方向性が見えていて、その中で、現状の体系はこれであるという整理ができているのであれば、それで良い。</p> <p>だからこそ、枠組みや方向性を示す部署について、共通認識であると、施策がより広がりを持っていくと考える。</p> <p>そういう意味でもロジック・モデルシートは、全体を見渡すツールとして必要であると感じた。</p>
委員長	<p>ロジック・モデルシートは、7月末頃に出てくるということなので、それを見てからヒアリングに臨んでいただきたい。</p>
委員長	<p>特に意見がなければ、次の施策の説明に移って良いか。</p>
委員一同	<p>異議なし</p>

事務局	<p><施策26「魅力ある公園づくり」> 資料2に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員	<p>環境空間における緑地と緑道、JR東日本と継続して協議していくと記載がある。テレビでは、パリやベルリンで高架道路下に健康のための自転車専用レーンを整備したという話が出ていた。市に要請して、鉄道会社と折衝するようにお願いしたというようなことが盛んに言われている。</p> <p>戸田市の場合は、河川敷や彩湖・道満グリーンパークに、緑地が集まっているが、埼京線は、市の中心を貫いており、高架下の周辺に環境空間があるが、現在、高架下は、ほぼ駐車場にしか使われていない印象である。</p> <p>高架下が公園のような場所になるかという点について、JR東日本と協議するのか。具体的な協議内容については、施策評価シートなどには、出ていないので、分からないが、どのような方向で、何を協議するのか。方向性を持っていないことには、協議もできないと思うので。</p> <p>協議の方向性がまだ定まっていないのなら、様々な計画の策定段階で市民に諮ってみたいことがあっても良いのではと感じた。</p> <p>施策における取組の方向性については、第5次総合振興計画の冊子などに書いてはあるが、実際の動きである事務事業として出てきたのが、ちびっこプールの補助金だけでは寂しい。</p> <p>それも重要ではあるが、もっと他にもあるのではないか。</p>
事務局	<p>JR東日本との協議については、長年に渡って実施しているため、方向性とそれに伴う結果について、整理されたものをお示しできるようにしたい。</p>
委員	<p>今後、どのような方向で進んでいくのか、どのような計画か。令和4年度としては出ていないが、今後の予定など。今回は、令和4年度の評価ではあるが、計画全体の中にある令和4年度の計画の話として。</p> <p>総合振興計画全体の中で見ていかないと、令和4年度は具体的に何もしないから止まっているとまらないようしないといけない。</p>
委員	<p>説明の中で、民間事業者に委託し、社会実験をしたという話については、</p>

	<p>足元では様々なアイデアの募集をしたということであった。市長の肝いりだと思うので、いろいろな動きがあると思うが、それ以外の取組などの情報について、まとめていただきたい。</p> <p>公園事業はいろいろな取組があると思うので、それも踏まえて評価をしたいと思う。</p>
事務局	承知した。
委員	全体的な話だが、施策評価シート5.事務事業の検討欄について、例えば、事務事業の3つ目のちびっこプールに関する説明で、「ちびっこ」で切れている。他のページも文章の途中で切れている。
事務局	<p>事務事業評価シートの記載内容を転記しているが、スペースの都合で切れてしまっている。</p> <p>具体的には、事務事業評価シートの1ページ目中段の事業内容を参照していただきたい。</p>
委員長	特に意見がなければ、次の施策の説明に移って良いか。
委員一同	異議なし
事務局	<p><施策3 1「地域資源を活用した観光振興の推進」></p> <p>資料2に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員	<p>定義の確認だが、ふるさと祭りは対象になるのか。朝市や戸田ボートなど、対象になるイベントは何か。</p> <p>それに絡めて、観光地入込客数は、いろいろなイベント目的で来た人が対象になっているのか。そこの関係性はどのようになっているのか。入込客数の基準を確認したいが、どこを見ればわかるのか。</p> <p>どのイベントが対象になるのかなど、観光地入込客数の集計方法について、確認をしたい。</p>

事務局	<p>また、フィルムコミッションは、映画だけではなく、ドラマなども全て実施しているということで良いか。そのような情報はどこに載っているのか。</p> <p>戸田市水と緑の公社のホームページに実績が掲載されているので確認していただきたい。</p> <p>観光入込客数については、観光庁が集計しており、戸田市内にある観光施設に会場した人数と戸田市内で開催したイベントへ参加人数が対象になっている。戸田市の場合は、指標の目標値にある130万人ほどのうち、平成30年度当時、祭りなどのイベント関係で約56万人、観光地点では、約80万人で、おおむね彩湖・道満グリーンパークの人数かとは思われる。</p> <p>ふるさと祭り以外のイベントを観光客数としては、イベント各種に参加いただいた方々の人数になるので、戸田市がどのイベントを対象にしているかを確認して回答させていただきたい。</p>
委員	<p>目標としてコントロールできる数字なのか。外的要因が多いのではないかという観点からも見てみたいと思う。</p>
委員	<p>地域資源という言葉は、いろいろな施策で使われており、施策31では、観光振興のために使っていくということになっている。</p> <p>施策25や施策7でも同じように地域資源を使って文化を高める、誇りを持つようなことになっているが、施策31は観光振興にターゲットを絞り、同じように地域資源を使いながら、ということになっている。</p> <p>地域資源を活用する方法の一つが観光振興であって、地域資源とは何か、地域資源をより進化させるためにどのようにすべきかなど、全体に見ている部署は、どこか。</p> <p>端的にいうと、戸田公園のボートコースや彩湖・道満グリーンパークは埼玉県の管轄であるが、戸田市内にあるので、有償や無償などの条件は様々だが、我々はそれを利用させてもらっている。そのような中で、例えば市として、何かもっと大きな取り組みとして、埼玉県管轄から戸田市の管理に変えるような方向に持っていくなど。</p> <p>それから、荒川河川敷の空間利用に関しては、国交省の荒川河川事務所と交渉しながら、新たな取組を行っていくことはないのか。現状は、野球場な</p>

事務局	<p>どに使用している程度である。</p> <p>戸田市の地域資源全体についての方向性を示すようなことは、やっているのか。やる予定があるのかという点も分かると明確になり、評価がしやすいと考える。</p> <p>施策31は、地域資源を活用した観光振興の推進という施策であり、ポートコースについては、現在、埼玉県管轄になっているが、市が有している施設としてなどを地域資源と捉え、観光振興に活用することが、この施策の展開の部分になる。</p> <p>また、戸田公園のポートコースについては、埼玉県から管理業務を受託し、市が管理することなども含め、様々な方法がある。施策31というよりは、個々の施設の施設管理の中で、検討を進めている部分であり、施策31は既に有している資源をしっかりと有効活用しながら、市内外から人を呼び込んで市民にも愛着を持たせるというものである。</p>
委員	<p>ポートコースは、一例である。地域資源の新たな方向性やその検討についての記載がほとんどないので、施策としてみた場合に、どうかと思ったところである。</p> <p>花火大会にしても、花火大会の所管課が荒川河川事務所と協議しているのであれば、もっと包括的に荒川河川事務所と協議するなどできるのではないか。</p> <p>施策26はJR東日本と協議をすると記載している。関係機関との連携や協議について施策としても取り上げていかないと、こういうことをやっていきますと言うだけになってしまう。第5次総合振興計画と銘打っているのであれば、そのぐらいの発想や意気込みでやっていくべきではないか。</p>
委員長	<p>今の点については、戸田市のシティーセールス戦略などにもうたわれているのではないか。</p>
事務局	<p>総合振興計画の基本目標ではなく、計画を推進するための考え方2「情報共有・発信の強化」の取組として、シティープロモーションの観点で戸田市は地域資源を大事にしていくとしている。地域の魅力であったり、観光振興</p>

<p>委員</p>	<p>については、シティープロモーションの考え方に則って、市民・行政・事業者それぞれで、行政主導だけではなく、全体で取り組んでいくものとしている。</p> <p>そういった意味でも施策31の展開というよりは、シティープロモーション戦略という大きな枠組みの中で、検討するというような形で行っており、施策31に関しては、既に有している資源を活かしてどのように進めていくかというすみわけになっている。</p> <p>全体を通じての質問になる。施策31に戸田市に住み続けたいと思うということが書いてあるが、土地などの価格に見合うのかという観点もある。</p> <p>つまり、土地の価格がどんどん上がっていくと、家賃や固定資産税なども含めて費用が増えることを懸念し、土地の安い地域に引っ越していくという事例もある。費用に見合っていると思うから、ここに住み続けたいという経済的な面もあり得る。</p> <p>このことから、住み続けたいという施策の設計において土地などの価格に見合うという考え方がどれだけ入っているのかということは、大事な論点ではないかなと思っている。</p> <p>余裕がある方が住んでいるのであれば、土地の価格が上がるような方向に取組を進めていき、ブランド化していくということもある。そうでない方法もあり得る話なので、住み続けたいということを設定するに当たって、どのようなデザインがされているのかということを確認しておかないと議論が混乱してしまう。</p> <p>施策26に関しては、JRと交渉することが明確にされている。</p> <p>ある意味、JRに了承してもらうこと、政治力を使うことが計画に書いてあるが、施策31に関しては、既存の地域資源が、全て市の所有ではない場所、つまり、関係機関と交渉して、了承してもらう作業が入っていることになる。</p> <p>誰に対して何を交渉するのかということを理解した上で、議論しないと混乱してしまうのではないかと。</p> <p>それから、施策26に関して、JRと交渉するというのは、明確だが、施策31では明確になっていない。</p> <p>施策9でも、新型コロナウイルス感染症対策を振り返り、評価をするとい</p>
-----------	--

	<p>うことだが、埼玉県南部保健所が戸田蕨の管轄であるので、新型コロナウイルス感染症に関する対応策を考えると、県あるいは市が、なんらかの費用負担をして南部保健所に実施してもらうことなどがあったのか。</p> <p>どの枠組みで議論したら良いのかを、ほんの短い時間でいいので整理してからでないとならなくなってしまうのではないかと。</p> <p>例えば、ワクチン接種コールセンターの設置は市だが、ワクチンは国が担当してから来る。PCR検査については、保健所で対応するものだが、市の対応が悪く、PCR検査ができなかったというようなことなのか。少し整理しておかないと分からないまま議論してしまう可能性がある。作業が可能かどうかにもよるが、いかがか。</p>
事務局	<p>関係機関の協力があって、はじめて事業が展開できる部分もある。関係機関にはどのようなものがあり、どういった交渉して進めていたか、大事な観点かと思うので、ヒアリング概要説明の際に、端的に説明させていただき、その後、ヒアリングの中でも回答できるように準備したいが、資料を事前に準備することは、難しいと考える。</p>
委員	<p>総合振興計画であるので、当然、関係機関の協力を得て、実施するというような記載もあるはずだが、関係機関の意思決定を拘束することは、市としてはできないので、交渉になる。</p> <p>そもそも、関係機関が納得した上で進めるということだが、あたかも全てを市が管理できるような書きぶりになってしまうということがある。</p>
委員長	<p>施策3-1のヒアリング時間は、1時間であるため、本当は、できる限り事前に資料いただきたいところだが、イベントが近づいていて、その準備に追われているそうなので、できる範囲でお願いしたい。</p>
委員長	<p>特に意見がなければ、次の施策の説明に移って良いか。</p>
委員一同	<p>異議なし</p>

事務局	○議題（２）今後の事務スケジュールについて 資料３に基づき、事務局が説明を行った。
委員長	意見や質問等はあるか。
委員一同	なし
委員長	<p>戸田市は外部評価委員会を１０年以上行っており、歴史と伝統がある。以前の総合振興計画の時に、外部評価委員会で評価対象となった施策で、今回の対象施策と内容的に類似したものがいくつかあると思うが、当時の外部評価委員による外部評価シートと議事録が残っていたら、参考までにデータを提供いただきたい。</p> <p>その時は、どのような議論があったのかが分かれば、参考になるので、検討いただきたい。</p> <p>４ 閉 会</p>